平成28年度

第43回通常総会議案書

平成 28年 6月 24日

国際航路協会日本部会

目 次

촳	百旦
餓	起

1)第1号議案	平成 27 年度会務報告並びに決算報告	1
2)第2号議案	平成 28 年度事業計画並びに収支予算	11
3)第3号議案	役員の選任について	15
その他		
1) 企画委員会委	員の交替について	16
報告事項		17
ブルージュ(ベル	マギー)年次総会(AGA)	

第1号議案 平成27年度会務報告並びに決算報告

I 平成 27 年度会務報告

(1) 会議参加及び開催

1) PIANC 本部関係

平成27年度は、年次総会(AGA)、評議会、執行委員会、海港委員会、環境委員会、 レクレーション水路委員会、国際協力委員会及び若手技術者委員会の各種会議に出席 した。参加状況は次表の通りである。

会 議	開催日	開催地		日本からの出席者(役職は当時のもの)
年次総会 (AGA)	H27.5.19-20.	Porto (ポルトガル)	川須野田川田崎田井川水康、博研耕将郁順洋州田崎田井川水が東京地域が東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東	前 国際航路協会 副会長 国際航路協会 副会長 国際航路協会 日本支部理事 国土交通省 港湾局 産業港湾課 主席国際調整官 水産庁上席漁港漁場専門官 同整備課性能規定係長 不動テトラ(株) 副社長 同係長 国際航路協会 日本部会 事務局長 住友ゴム工業(株)
評議会 (Council)	第74回 H27.5.18	Porto (ポルトガル)	須野原 豊中川 研造	同上同上
	第75回 H27.9.8	Buenos Aires (アルゼンチン)	須野原 豊中川 研造	同上
	第 76 回 H28.2.5	Brussels (ベルギー)	須野原 豊中川 研造 清水 崇	同上同上

会 議	開催日	開催地		日本からの出席者(役職は当時のもの)
執行委員会	H27. 5. 19	Porto	須野原 豊	国際航路協会 副会長
(ExCom)		(ポルトガル)		
	H27. 9. 7	Buenos Aires (アルゼンチン)	同上	同上
	H28. 2. 4	Brussels (ベルギー)	同上	同上
海港委員会	H27. 9. 28-29	0slo	樋口 嘉章	(株) オリエンタルコンサルタンツ 執行役員
(MarCom)		(ノルウェー)		
	H28. 2. 2-3	Brussels	同上	同上
		(ベルギー)		
環境委員会	H27. 10. 18	Savannah	中村 由行	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教
(EnviCom)		(米国)		授
	H28. 2. 2-3	Brussels	同上	同上
		(ベルギー)		
レクレーション水路	27. 9. 7	Buenos Aires	山下 雅人	(一社)マリーナビーチ協会 理事
委員会		(アルセ゛ンチン)		
(RecCom)				
国際協力	28. 2. 3	Brussels	大内 久夫	日建工学(株) 取締役副社長
委員会		(ベルギー)		
(CoCom)				
若手技術者	27. 5. 6	Ghent	高橋 英紀	(独)港湾空港技術研究所 地盤研究領域動土質
委員会		(^* //+* '-)		研究戶4 主任研究官
(YPCom)	28. 2. 3	Brussels	同上	
		(^"/H"-)		

2) PIANC-Japan 関係

① 国内各種活動の推進のために、下記の通り、総会、理事会、運営委員会、企画小委員会、企画委員会の各会議及び報告会を開催した。

会議等	開催日	開催場所
平成27年度企画委員会	H27.6.5	OCDI 会議室
第 42 回通常総会	H27.6.23	都市センターホテル
第 46 回理事会	H27.6.23	都市センターホテル
	1	

② 27 年度 PIANC-Japan 活動報告会

日時: 平成27年6月23日(水) 15:30~16:50

場所:都市センターホテル

講師およびテーマ:

a) ポルトAGAの概要

堀川 洋 PIANC-Japan 事務局長

b) De Paepe-Willems 賞受賞報告

三井 順 (株) 不動テトラ

c) 海港委員会 (MarCom) 報告

樋口 嘉章

(株)オリエンタルコンサルタンツ 執行役員

d) 国際協力委員会(CoCom)報告

大内 久夫

日建工学(株) 取締役副社長

e) 環境委員会 (EnviCom) 報告

中村 由行

横浜国立大学都市イノベーション研究員 教授

f) レクレーション委員会 (RecCom) 報告

山下 雅人

(一社)日本マリーナ・ビーチ協会理事

③ 第一回 PIANCーインドネシア セミナーの開催

日時: 平成27年10月28日-29日 場所: インドネシア、ジャカルタ

a) 基調講演 インドネンア海事調整省副大臣

b) PIANC 活動報告 PIANC 本部事務局長

c) 講演会 インドネンアにおける内陸水運

東南アジア沿岸都市の洪水リスク低減

沖合津波データ利用

沿岸及び河口部におけるシルテーション

海上ターミナル設計の新手法

d) セッション 港湾マスタープラン

レジャーポートとマリーナ

浚渫と埋立

(2) 委員会・研究活動

1) 平成27年度の各委員会等の日本の委員は次のとおりである。

委 員 会	日本の委員
ExCom 副会 長	須野原 豊 国際航路協会 日本部会 会長
EnviCom 委員	中村 由行 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授
MarCom 委員	樋口 嘉章 (株) 利 エンタルコンサルタンツ 執行役員
CoCom 委員	大内 久夫 日建工学(株) 専務取締役
YPCom 委員	高橋 英紀 (独)港湾空港技術研究所 地盤研究領域動土質研究行山主任研究官
RecCom 委員	山下 雅人 (一社)日本マリーナビーチ協会 理事

2) わが国の委員が参画する WG は以下の通りである。

内陸水路委員会(InCom)

WG 番号	WG名	日本の委員
1 128	Alternative bank protection methods 護岸防護方法について	中村由行
151	Impacts of seismic loads and ship impacts on lock gates 閘門扉に対する地震及び船舶衝撃力	菅野 高弘
166	Inflatable structures in hydraulic engineering 水理工学分野における膨張式構造物	丸山 一郎 住友電気工業

海港委員会(MarCom)

WG 番号	WG名	日本の委員
47	Criteria for the selection of breakwater types and their optimum damage risk level 防波堤の形式と最適破壊リスクレベルの選択基準	下迫健一郎 港空研
145	Berthing Velocities and Fender Design 接岸速度と防舷材の設計	上田 茂 いであ(株) (共同委員長) 山瀬 晴義 (株ブリジストン
153	Recommendation for the design of marine oil terminals 海洋石油ターミナルの設計に関する勧告	管野 高弘 港空研

161	Interaction between offshore wind farms and maritime navigation	米山 治男
161	洋上風力発電が船舶航行に及ぼす影響	港空研
167	Design of terminal for RoRo and RoPax vessels	竹信 正寛
107	RoRoおよびRoPax船用ターミナルの設計	港空研

環境委員会(EnviCom)

WG 番号	WG名	日本の委員
163 (旧 16)	Management of Ports Harbour and Waterways for Fishes and Shellfishes 魚介類のための港湾・航路の管理	桑江 朝比呂 港空研

国際協力委員会(CoCom)

WG 番号	WG名	日本の委員
126	Training in Ports and Waterways 港湾および水路におけるトレーニング	安部 智久 国総研

その他 (TG)

番号	TG名	日本の委員
181	The State and Perspectives of Waterborne Transport Infrastructure Worldwide 世界における水上輸送インフラの現状と展望	安部 智久 国総研 高橋 英紀 港空研

3) 平成27年度、次のWGから研究報告書が発行された。

InCom WG140 Semi-Probablistic Design Concept for Inland Hyd aulic Structure

InCom WG155 Ship Behavior in Locks and Lock Approches

MarCom WG144 Classification of Soils and Rocks for the Maritime Dredging Process

MarCom WG165 Design and Maintenance of Container Terminal Pavements

MarCom WG180 Guidelines for Protecting Berthing Structure from Scour Caused by Ships

RecCom WG130 Anti-Sedimentation System for Marinas and Yacht Harbours

また、以下のWGのTORが提案された。

設立日	WG No.	WG名		
6日11日	MarCom185	Site Selection and Planning for New Ports and Specialist Marine Terminals on Green		
		field Sites-Technical		
		Mooring of Large Ships at Quay Walls		
6月11日	MarCom184	Design Principles for Bulk Marine Terminals		
6月11日	MarCom187	Protection of Undersea Pipelines and Cables in Navigable Areas		
7月7日	EnviCom188	Carbon Management for Port and Navigation Infrastructure		
9月26日	InCom	Composities for Hydraulic Structures, V2, 24 Sept 2015		
9月28日	InCom189	Fatigue of Hydraulic Steel Structures-Design, analysis, Assessment and Maintenance		
0 H 20 H	0日 InCom125	Guidelines and Recommendations For River Information Services Update of the RIS		
9月30日		Guidelines 2011		
10月5日	InCom128	Alternative Technical-Biological Bank Protection Methods for Inland Waterways		
11月17日	RecCom169	Fire System Detection and Controls in Marinas		
11月17日	RecCom183	Innovative Products and Technologies in Marina's		
12月3日	MarCom164	Upgrade of Port Berths by increasing dredged depth		
	Cross-			
3月3日	Commission	Deciliance of the Maritime and Juland Waterhorne Transport System (MIWTS)		
з Язп	Task	Resilience of the Maritime and Inland Waterborne Transport System(MIWTS)		
	Group193			
3月3日	InCom192	Developments in automation and remote operation of locks and bridges		

(3)活動費の補助

PIANC 本部の研究活動等への参加者に対し、申請に応じ参加費用の一部 (旅費及び宿泊費など)を次の会員に補助した。

研究活動等	年月日	開催地	参加者
MarCom 委員会	H27.9.28-29 H28.2.2-3	ノルウェー、オスロ ベルギー、ブリュッセル	樋口嘉章
CoCom 委員会	H28.2.3	ヘベルキー、フェリュッセル	大内 久夫
RecCom 委員会	H27.9.7	アルセンチン、ブェノスアイレス	山下 雅人
EnviCom 委員会	H27.10.18-19	サバンナ、米国	中村 由行
YPCom 委員会	H27.5.6	ゲント、ベルギー	高橋 英俊
インドネシア・セミナー	H27.10.28-29	シ゛ャカルタ、イント゛ネシア	大内 久夫
総会 DPWA 表彰式	H27.5.19-20	ポ [°] ルト、 ポ [°] ルトカ [*] ル	三井 順

(4) 普及活動

- 1) PIANC Magazine および WG レポートを配信した。
- 2) PIANC-Japan News をホームページに掲載、配信した。

(5) その他

平成28年3月31日現在の会員数は以下の通りである。

会員の種別			H27.3.31	増減	H28.3.31
	団体会員		51	0	51
	凹件云貝	(プラチナ会員、内数)	(1)	(0)	(1)
正会員	個人会員	普通会員	118	+3-1	120
正云貝 		(40 歳以下、内数)	(12)	(0)	(12)
		学生会員	0	0	0
		名誉会員	3 (内終身会員 3)	0	3 (内終身会員3)
	合計			+2	174

Ⅱ 平成27年度 決算報告(案)

収支計算書

自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日

1. 収入

(単位:円)

				(半位.口/
科目	(A)平成27年度 予算額	(B)平成27年度 決算額	(A)-(B)	備 考
会費	9,515,000	9,540,000	25,000	
個人会費	1,665,000	1,690,000	△ 25,000	
団体会費	7,850,000	7,850,000	0	
	0	0	0	
特別積立預金取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	
雑収入	20,000	4,635	15,365	
当期収入合計	11,535,000	9,544,635	1,990,365	
前期繰越収支差額	1,747,140	1,747,140	0	
収入合計	13,282,140	11,291,775	1,990,365	

2. 支出

科目	(A)平成27年度 予算額	(B)平成27年度 決算額	(A)-(B)	備考
事務局管理運営費	5,080,000	3,324,700	1,755,300	
物件費	2,880,000	1,738,367	1,141,633	印刷、通信、パソコン、送料、消耗品
会 議 費	700,000	660,904	39,096	理事会·総会等
会議出席旅費	1,500,000	925,429	574,571	事務局,Council等出席旅費
研究事業費	3,010,000	2,179,423	830,577	
物 件 費	210,000	33,584	176,416	機関誌通関、活動報告会等
会 議 費	200,000	47,007	152,993	
会議出席旅費	1,500,000	1,247,116	252,884	委員会、WG出席補助
活動活性化費	1,100,000	851,716	248,284	
本 部 会 費	3,863,080	4,056,991	△ 193,911	
特別積立金	0	0	0	
コングレス出席積立金支出	600,000	600,000	0	
予 備 費	0	0	0	
当期支出合計	12,553,080	10,161,114	2,391,966	

当期収支差額	△ 1,018,080	△ 616,479	△ 401,601	
•				
次期繰越額	729,060	1,130,661	△ 401,601	

貸借対照表

(平成28年 3月31日)

(単位:円)

資産の部		負債の部		
流 動 資 産	1,130,661	流 動 負 債	<u>0</u>	
普通預金	1,130,661	前受金	0	
固定資産	29,800,000	 固 定 負 債	29,800,000	
コングレス出席積立預金	1,600,000	コングレス出席積立金	1,600,000	
特別積立預金	28,200,000	特別積立金	28,200,000	
		負債合計	29,800,000	
		正味財産の部		
		正味財産	1,130,661	
		(うち当期正味財産減少額)	△ 616,479	
資 産 合 計	30,930,661	負債及び正味財産合計	30,930,661	

財 産 目 録

(平成28年 3月31日)

(単位:円)

資産の部		負 債 の 部		
流 動 資 産	1,130,661	流 動 負 債	0	
普 通 預 金	1,130,661			
三菱東京UFJ銀行本店	73,398			
三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	335,802			
みずほ銀行新橋支店	187,661			
郵 便 貯 金	533,800			
固 定 資 産	29,800,000	固 定 負 債	29,800,000	
コングレス出席積立預金	1,600,000	コングレス出席積立金	1,600,000	
郵 便 貯 金	1,000,000			
三菱東京UFJ銀行本店	600,000			
特別積立預金	28,200,000	特別積立金	28,200,000	
三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店(定期)	10,000,000			
みずほ銀行新橋支店(定期)	10,000,000			
三菱東京UFJ銀行本店	8,200,000			
資 産 合 計	30,930,661	負 債 合 計	29,800,000	
		差引正味財産	1,130,661	

正味財産増減計算書

自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日

(単位:円)

		(甲位:円)
科目	金	額
1. 増加の部		
資産増加額		600,000
コングレス出席積立預金増加額		600,000
負債減少額		<u>0</u>
増加額合計		600,000
2. 減少の部		
当期収支差額		616.479
資産減少額		<u>0</u>
負債増加額		600,000
コングレス出席積立金増加額		600,000
減少額合計		1,216,479
当期正味財産増加額		\$ 616,479
拉姆姆·格丁··································		1 747 140
前期繰越正味財産額		1,747,140
期末正味財産合計額		1,130,661

監 査 報 告

平成27年度会務報告及び決算報告について監査したところ、

いずれも適正かつ妥当であることを確認しました。

平成28年5月24日

国際航路協会日本部会

監事 鶴谷広一

監事 池田龍彦

第2号議案 平成28年度事業計画並びに収支予算

I 平成 28 年度事業計画

(1) 活動方針

我が国への裨益を念頭に置きながら、官民で連携しつつ次の対応を行う。

- ①我が国港湾技術の国際標準化支援
- ②我が国の港湾技術や政策の世界への発信
- ③各国のPIANC 国内委員会との連携等を通じたPIANC-Japan のネットワークの充実と、アジア域内のPIANC 活動活発化への貢献

なお、上記活動に当たっては次の対応を基本とすることとする。

- ① PIANC 本部において行われる活動の基本方針や計画などの決定に積極的に関与し、PIANC活動の発展に貢献する。
- ② PIANC 本部において行われる研究活動に積極的に参画し、我が国港湾技術の国際標準化及び港湾技術情報の国際交流の促進に貢献する。
- ③ 上記活動の参加者に対し、必要に応じ活動費の支援を行う。
- ④ 日本部会会員相互の情報交換を促進する。
- ⑤ 日本部会の組織の強化及び活動の活性化を図る。
- ⑥ Young Professional の組織活性化を図る。
- ⑦ 会員サービスの向上を図る。

(2) 会議参加および開催

1) PIANC 本部関係

2016年年次総会(AGA、Brugge, Belgium)、Council, ExCom、その他委員会などに積極的に参加する。

【参考】平成28年度各種委員会への参加者は次の通りである。

ExCom	副会長	林田 博	国際航路協会 副会長
MarCom	委員	樋口 嘉章	(株)オリエンタルコンサルタンツ執行役員
EnviCom	委員	中村 由行	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授
CoCom	委員	小野 憲司	京都大学防災研究所 社会防災研究部門 教授
YPCom	委 員	高橋 英紀	(独)港湾空港技術研究所
			地盤研究領域動土質研究チーム 主任研究官
RecCom	委 員	山下 雅人	(一社)日本マリーナビーチ協会 理事

2) PIANC-Japan 関係

国内各種活動の推進のために、総会、理事会、企画委員会等の会議を開催する。

(3) 研究活動

1) 各種作業部会 (WG) への参加

InCom、MarCom、EnviCom、CoCom、YPCom、RecCom などの各種作業部会 (WG) に参加し、その出席及び国内で開催される会合への支援を積極的に行う。

2) 論文募集

PIANC Magazine への論文投稿を呼びかけると共に、若い技術者や研究者を対象とした De Paepe-Willems 賞への論文投稿を奨励する。

3) その他

PIANC-Japan の活動の趣旨に沿った調査事業等を支援する。

(4) 活動費の補助

1) PIANC 本部関連会議への参加費用の補助

PIANC 本部関連会議(WG等)への我が国からの参加者に対し、申請に応じて参加費用の一部(航空運賃、宿泊費等)を補助する。

また、海外滞在中の専門家が関連会議に出席する場合、申請に応じて参加費用を補助する。

- 2) PIANC 本部関連会議(WG等)の我が国での開催への支援 PIANC 本部関連会議(WG等)に対し、必要に応じて開催費用を補助する。
- 3) COPEDEC に研究者等が参加する場合、申請に応じて参加費費用の一部(航空 運賃、宿泊費等)を補助する。
- 4) Magazine 等に提出する論文に対し、翻訳などが必要な場合、翻訳費等を補助する。

(5) 会員サービス

- 1) PIANC 本部および日本部会の活動状況を会員に紹介するため次のことを実施する。
 - ・「国際航路協会日本部会運営案内」(平成28年度)の作成、配信
 - ・最新の活動情報をホームページ上に NEWS として随時掲載。
 - ・PIANC Yearbook の日本部会会員への配布
 - ・PIANC WG 報告の紹介
- 2) PIANC-Japan のホームページ(日本語版・英語版)の内容を更新する。
- 3) WG 報告書等の中から、日本部会会員にとって有用な報告書を日本語に翻訳、 配布する。
- 4) 会員向け報告会を開催する。

(6) アジア地域等における PIANC 活動の活性化

日・ASEAN 次官級交通政策会合、APEC における非公式会合などの場を活用して、アジア地区における PIANC 活動の活性化を図るための活動を行う。また、アジア地域の技術者が PIANC 関連会議 (PIANC-COPEDEC IX Conference in 2016 in Brazil) 等に参加する費用を支援することによって活動活性化を図る (払い込み済み)。

(8) その他

本部プラチナ会員への入会勧誘を促進する。

団体会員に対し、PIANC Magazine への広告掲載を呼びかける。

Ⅱ 平成28年度 収支予算(案)

1. 収入

(A)平成27年度 予算額	平成27年度 決算額	(B)平成28年度 予算額	(B)-(A)	備考
9,515,000	9,540,000	9,540,000	25,000	
1,665,000	1,690,000	1,690,000	25,000	
7,850,000	7,850,000	7,850,000	0	
2,000,000	0	3,000,000	1,000,000	
20,000	4,635	20,000	0	
11,535,000	9,544,635	12,560,000	1,025,000	
	予算額 9,515,000 1,665,000 7,850,000 2,000,000 20,000	予算額 決算額 9,515,000 9,540,000 1,665,000 1,690,000 7,850,000 7,850,000 2,000,000 0 20,000 4,635	予算額 決算額 予算額 9,515,000 9,540,000 9,540,000 1,665,000 1,690,000 1,690,000 7,850,000 7,850,000 7,850,000 2,000,000 0 3,000,000 20,000 4,635 20,000	予算額 決算額 予算額 (B)-(A) 9,515,000 9,540,000 9,540,000 25,000 1,665,000 1,690,000 1,690,000 25,000 7,850,000 7,850,000 7,850,000 0 2,000,000 0 3,000,000 1,000,000 20,000 4,635 20,000 0

前期繰越収支差額	1,747,140	1,747,140	1,130,661	△ 616,479	
収入合計	13,282,140	11,291,775	13,690,661	408,521	

2. 支出

科目	(A)平成27年度 予算額	平成27年度 決算額	(B)平成28年度 予算額	(B)-(A)	備考
事務局管理運営費	5,080,000	3,324,808	4,160,000	△ 920,000	
物 件 費	2,880,000	1,738,475	1,960,000	△ 920,000	庸人費、印刷、通信、パソコン、送料等
会 議 費	700,000	660,904	700,000	_	理事会・総会等
会議出席旅費	1,500,000	925,429	1,500,000	0	事務局AGA,Council等出席旅費
研究事業費	3,010,000	2,179,315	4,200,000	1,190,000	
物件費	210,000	33,476			Yearbook通関、活動報告会、翻訳等
会 議 費	200,000	47,007	100,000	△ 100,000	
会議出席旅費	1,500,000	1,247,116	2,000,000	500,000	委員会、WG出席補助
活動活性化費	1,100,000	851,716	2,000,000	900,000	YpComフィリピン・セミナー、COPEDEC
本 部 費	3,863,080	4,056,991	4,100,000	236,920	
コングレス出席積立預金支出	600,000	600,000	600,000	0	
特別積立支出	0	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	0	
当期支出合計	12,553,080	10,161,114	13,060,000	506,920	
次期繰越額	729,060	1,130,661	630,661	△ 98,399	

第3号議案 役員の選任について

1. 役員の選任

役員の任期満了に伴い、次期役員を日本部会規約第8条(役員の選任)及び第10条(役員の 任期))により選任するため以下のように提案する。

理事

影山 智将 再任 (一財)漁港漁場漁村総合研究所 理事長

春日井康夫 再任 国土交通省 国土技術政策総合研究所 副所長

川嶋 康宏 再任 日本港湾空港建設協会連合会 会長

栗山 善昭 新任 国立研究開発法人 海上·港湾·航空技術研究所 港湾空港技術研究所 所長

黒田 勝彦 再任 神戸大学名誉教授

清水 琢三 新任 (一社)日本埋立浚渫協会 会長

須野原 豊 再任 (公社)日本港湾協会 理事長

高山 知司 再任 (一財)沿岸技術研究センター 沿岸防災技術研究所長

橋本 牧 再任 (公社)全国漁港漁場協会 会長

富田 英治 再任 (一財)国際臨海開発研究センター 理事長

攤岡 和夫 再任 東京工業大学 環境·社会理工学院 融合理工学系 教授

林田 博 再任 国際航路協会副会長

監事

池田 龍彦 再任 国際港湾交流協力会 会長

鶴谷 広一 再任 三井共同建設コンサルタント(株) 技術顧問

また、日本部会規約第8条第2項により、会長を理事の互選で決定する。 さらに、同条第3項により、副会長を会長の指名により決定する。

【参考】

・日本部会規約第8条(役員の選任)

理事及び監事は、総会において正会員の内から選任する。

- 2. 会長は、理事の互選とする。
- 3. 副会長は、会長の指名による。
- ・同 10条(役員の任期)

役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

その他

1. 企画委員会委員の交替について

人事異動等に伴い、日本部会規約第17条の2(委員会)及び国際航路協会日本部会企画委員会細則(平成24年6月22日)による企画委員会の委員を下記のように変更する。

平成28年6月24日(敬称略、順不同)

委員長	中﨑 剛	国土交通省 港湾局 産業港湾課 国際企画室長			
副委員長	正岡 孝	国土交通省 港湾局 技術企画課 技術基準審査官			
委員	鈴木 淳	国土交通省 国土技術政策総合研究所 管理調整部 企画調整課長			
"	的野 博行	農林水産省 水産庁 漁港漁場整備部整備課 課長補佐			
IJ	西園 勝秀	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 企画調整・防災課長			
"	吉見 昌宏	(独)国際協力機構 社会基盤・平和構築部 技術審議役			
"	市川 公映	東京都 港湾局 港湾整備部 計画課長			
"	有賀 健滋	(一社)日本埋立浚渫協会(五洋建設(株)国際部門国際土木本部土木事業部担当部長)			
"	岸 弘之	(一財)沿岸技術研究センター 研究主幹			
"	黒川 和浩	(一財)国際臨海開発研究センター 研究主幹			
"	若林 修司	(一財)みなと総合研究財団 研究主幹			
"	高田 直和	(一財)港湾空港総合技術センター 研究主幹			
"	浅川 典敬	(一社)水産土木建設技術センター 審議役			
"	藤野 真	(一社)日本埋立浚渫協会(東亜建設工業(株)土木事業本部 副本部長)			
"	原田公一郎	(一社)港湾技術コンサルタンツ協会 ((株)日本港湾コンサルタント海外事業本部長)			
"	樋口 嘉章	国際航路協会本部 海港委員会日本代表			
JJ.	小野 憲司	国際航路協会本部 国際協力委員会日本代表			
"	中村 由行	国際航路協会本部 環境委員会日本代表			
"	山下 雅人	国際航路協会本部 レクレーション委員会日本代表			
"	高橋 英紀	国際航路協会本部 若手技術者委員会日本代表			

事務局 中川 研造 国土交通省港湾局産業港湾課 首席国際調整官

堀川 洋 PIANC-Japan 事務局長

報告事項

ブルージュ(ベルギー)年次総会(AGA)の開催

1. 場所

Belfry of Bruges ブルージュ (ベルギー)

2. 日程

2016年5月17日から19日

・1 日目 : 市庁舎レセプション

• 2 日目 : AGA、夕食会

・3日目:セミナー、現地見学会(ジーブルージュ港)



市庁舎



市庁舎講堂

3. AGA 概要

ブルージュにおける最古の建築物のひとつであるブルージュ鐘楼(Belfort: The Belfry of Bruges)を会場に開催されました。わが国からは津田国土交通省大臣官房技術参事官、須野原副会長、川嶋日港連会長、林田新日鉄住金顧問、中川港湾局主席国際調整官、伊藤水産庁上席漁港漁場専門官、的野同課長補佐、住友ゴムの清水氏および PIANC 日本支部事務局長堀川が出席しました。



Belfort



AGA 会場

会議では会長からの今後の PIANC のおかれる環境と取り組むべき課題、事務局長からの活動報告、財務委員会委員長より 2015 決算および 2016 事業計画の報告がなされました。

引き続き Qualified Member の増加に勤めることを目標に揚げ、フィリピン、インドネシアの参加等アジアにおけるこれまでのわが国の貢献についても言及されました。

また、報告によれば、財務は昨年に続き黒字決算であるとのことでした。

執行部の人事異動として、須野原氏に替わる新副会長に林田博氏が、Louis Van Schel 氏 に代わる新事務局長として Geert Van Cappellen 氏がそれぞれ承認されました。



退任挨拶をする須野原前副会長



林田新副会長

さらに、以下の活動についての報告等がありました。

YPCom Asian Seminar in the Philippines & Singapore – Malaysia COPEDEC IX 2016 in Brazil ICOPMAS 2016 in Teheran, Iran AGA 2017 in Cairns, Australia Smart-River 2017 in Pittsburgh, USA PIANC Congress 2018 in Panama

次に DPWA(De Paepe-Willems Award) の表彰が次の通り行われ、第一位の受賞者からのプレゼンがなされました。

第一位: Large Diameter FRP Monopile Systems for Ferry Berths (Dolphin System)
Mr. Matthew McCarty, USA

第二位: Analysis of Stepwise Failure of Marine Gravity Structures and Implications for Design Practice

Mr. Hisham Elsafti, Germany

第三位: Hydrodynamic Interaction between Waterway and Ship Mr. Evert Lataire, Belgium さらに、すぐれたマリーナを表彰する MEDA(Marina Excellence Design Award)の表彰 とプレゼンがなされました。

受賞マリーナ Marina at Keppel Bay, Singapore

なお、今後の PIANC 主要行事予定は次の通りです。

Year	Meeting	Venue	Date
2016	ExCom	Rio de Janeiro, Brazil	Oct. 14
	Council		Oct. 15
	COPEDEC		Oct. 16-21
2017	Technical Com.	Brussels, Belgium	Jan. 30-Feb. 1
	ExCom		Feb. 2
	National Sec. Meeting		Feb. 3
	ExCom	Cairns, Australia	June 18
	AGA		June 19
	Coasts & Ports Congress		June 19-21
	ExCom	Brussels, Belgium	Oct. 12
	Council	·	Oct. 13
2018	Technical Com.	Brussels, Belgium	Jan. 29-31
	ExCom		Feb. 1
	National Sec. Meeting		Feb. 2
	ExCom AGA	Panama City, Panama	May 7-12
	34th World Congress		
	ExCom	Brussels, Belgium	Oct. 11
	Council		Oct. 12
2010	ACA	Kaha Janan	
2019	AGA AGA	Kobe, Japan UK	
2020	AGA	JUN	